

## 令和4年度 自己評価に対する評価委員会による結果の公表について

表記に対する学校関係者評価委員会による結果を下記の通り公表いたします。保護者・教職員による評価の詳細については集計結果をご覧ください。

2023年2月24日

分野	評価項目	達成状況	学校関係者評価	自己評価
			主な意見（改善策など）	改善の方策
生徒指導	報告・連絡・相談など、教職員間で連携をとり、問題行動への適切な対応ができていると思いますか。	3.1	・個々の生徒に対する思いやりある対応については評価している。全国的に不登校生徒が増加しており、生徒同士の関係づくりが難しくなっている中で、学級集団をいかに構築していくか、学校全体の問題としてとらえる必要がある。意思疎通を図るためにも報連相は重要だと考える。	・寄り添う教育を実践するようになっているのだが、若い先生方が増えてきており、教員間の意思疎通がうまくいっていないことが考えられる。職員全体の問題としてとらえ、ジェネレーションギャップを埋める工夫と、生徒とのコミュニケーションを多くすることで解決を図ってきたい。

### 《全体を通して》

・保護者アンケート結果では、「4」や「3」の評価が多く、生徒・保護者にはある程度満足していただいていると評価できる。

・大妻高校の先生方は良く頑張っており、教職員アンケート結果で自己評価がやや低いのは、自らの反省や対応等に対する意識の高さの表れと考えられる。

・情報を共有するためにも学年間の雰囲気作りが大切。人間関係の構築、ジェネレーションギャップをどう埋めるか、横の連携をどうするか、校務分掌が固定化していないか。組織を機能的に稼働させるために必要。

### 《学校運営》

・大妻高校は初代校長からの建学の精神を大切に実行しており、地域社会から評価されている。世代交代で経験1～2年の若い先生方が増えてきており、やむを得ない側面があると思われるが、スクールミッションやスクールポリシーについて、機会をとらえて話していくことが大切ではないか。

### 《教育課程・学習指導》

・生徒による授業評価を生かしているかについては、自己反省のようにも思われるが、先生方一人ひとりがどのように対処していくのかが問われていると捉えるべき。

### 《地域との連携》

・教職員の自己評価アンケート結果で、ボランティア等の対外行事がコロナ禍において実施できていないことを考えれば、低くなることはやむを得ないと思われるが、できる方法の模索をするべきだ。また、小学校や中学校と異なり通学範囲が広がることもあって、保護者との連携は難しい面があるとは思いますが、地域の人々や地域企業との交流等を大切に活動して欲しい。

評価委員会でいただいた意見を取りまとめました。

上記意見を検討し、今後の教育活動に反映させていきたいと考えます。

令和4年度『評価委員会』

函館大妻高等学校 評価委員

函館大妻高等学校 学校関係者